

**ヤフー「白河データセンター」が稼働開始！  
来秋には2号棟が完成予定**

インターネット国内最大手のヤフー(株)と、同グループの(株)IDCフロンティアが建設を進めていた「白河データセンター」が完成し、10月1日に稼働を開始しました。同日行われた竣工式に出席した鈴木市長は「これを契機に県南の情報・通信産業が大きく発展することを期待しています」と話し、完成を祝いました。このデータセンターは、インターネット上の情報を管理・処理する施設で、2万台を超えるサーバーが収められています。来年秋には2号棟が完成する予定です。



▲関係者が完成を祝いました

**新島八重の生涯と戊辰戦争展 記念シンポジウム  
白河口の激戦や八重の人物像を語る**

白河集古苑(郭内)で、11月4日まで開催されている「新島八重の生涯と戊辰戦争展」を記念したシンポジウムが、9月29日、文化センター(中田)で開催され、多くの来場者が足を運びました。大河ドラマ「八重の桜」の放送にあわせ、県の観光PRのために結成された「ふくしま八重隊」のパフォーマンスが披露されたほか、白河高の植村美洋教諭が白河口の戦いについて、同志社社史資料センターの小枝弘和さんが新島八重の魅力について講演しました。



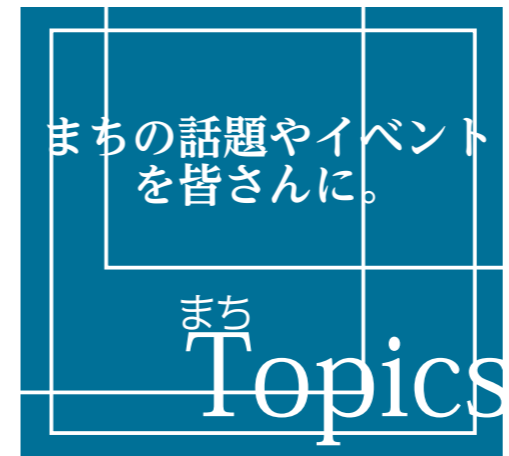
▲パフォーマンスを披露するふくしま八重隊の皆さん

**第58回白河市発明展  
柔軟な発想が光る作品20点を表彰**

9月21日から25日まで、市立図書館(道場小路)で「第58回白河市発明展」が開催されました。市内の小学生以上を対象に作品を募集した結果、421点、昨年(246点)と比較すると約1.7倍の作品が出品されました。この中から、市長賞など20点が選ばれ、一人一人に表彰状が手渡されました。期間中、約800人が会場を訪れ、来場者からは、柔軟な発想やアイデアが光る作品に、驚きや感嘆の声がかげられました。



▲受賞した皆さん



▲パネルディスカッションの様子

**歴史研究会第28回全国大会奥州白河大会  
白河ゆかりの大名の子孫3人が白河口の戦いを語る**

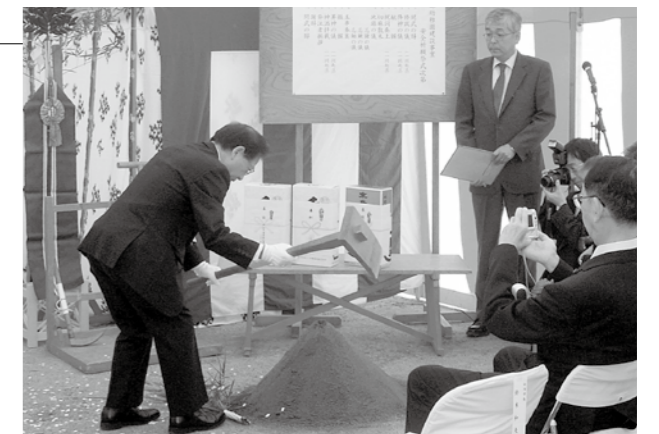
10月19日、ホテルサンルート白河(新白河駅前)で、歴史研究会第28回全国大会奥州白河大会が開催され、全国の歴史愛好家を含む約300人が参加しました。佐川庄司市建設部都市政策室長が「白河関跡周辺の歴史とロマン」をテーマに講演。続いて行われたパネルディスカッション「ご子孫が語る戊辰戦争白河口の戦い」では、白河ゆかりの大家の子孫で、二本松藩丹羽家第18代当主の丹羽長聰氏、忍藩松平(奥平)家第16代当主の松平忠昌氏、棚倉藩阿部家第22代当主の阿部正靖氏をパネリストに迎え、阿部家家老平田家14代当主の平田重樹氏がコーディネーターとなり、各家の歴史や戊辰戦争白河口の戦いを振り返りました。各家当主が語る逸話に、参加者は興味深く聞き入っていました。



▲主催者と当主の皆さん

**表郷幼稚園園舎新築工事が着工  
来年7月に完成予定。2学期から供用開始**

10月9日、表郷庁舎東側の表郷幼稚園園舎建設地(表郷金山)で、工事の安全を祈る祈願祭が行われました。出席した鈴木市長は「子どもたちがたくましく成長するよう願っています」とあいさつしました。現園舎は、老朽化が進み、敷地も狭かったことから、新園舎の建設が検討され着工に至ったものです。新園舎は木造平屋建てで、延べ床面積は1,282㎡。6つの保育室と預かり保育室、遊戯室、多目的ホールが設置されます。完成は来年7月の予定です。



▲安全祈願祭の様子